

東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第9号 2011年3月27日(日) 電話:098-833-3397

第3陣一避難所めぐり・医療相談 続く



今日は全員が避難所まわりとなりました。石井先生だけが避難所まわりを午前で切り上げ、午後休んで当直に入ります。

避難所は毎日訪問していることもあり比較的落ち着いた状況で、風邪症状を訴える方が多い様子でした。また、現在は医療活動とは別に足湯が大盛況で今日訪問した小学校だけでも50人おり、足湯専門のグループも結成されています。足湯の他にも体操やマッサージなども喜ばれており、少しずつ新しいフェーズに入りつつあるように思います。

(第3陣事務局長：伊波達郎)

(沖民救援隊ブログ)より

石井先生は午前は避難所廻り、そして今はER夜勤で勤務中です。他4名は1日避難所廻りでした。班はそれぞれ違って、私は1日多賀城市の文化センターへ行きました。まだまだ多くの避難者がいて、風邪や下痢症状の訴えが多かったです。出発前に口腔ケアを実施したい！と班の看護師メンバーで計画・準備してむかったのですが…午前・午後とも医療相談・診察で忙しく実施は出来ませんでした(>_<)他の班メンバーでは足浴チームが立ち上がり活動したようです!! 避難所での診察中、津波に巻き込まれ泳いで逃げた際に打撲した方からお話を聞かせていただきました。また、中学生どおし、一緒に頑張っていこうね！と話している声も聞かれました。診察中も余震があり、小学生の子はすぐに察知し、すごく敏感になっている姿が見られました。常に、被災者は緊張感を持ち続けているんだと改めて強く感じました。それでも、みんなが“前へ”と気持ちを強く持っているのをすごく感じました。少しでも、体調が崩れないようそしてメンタル面も…みんな協力し合って支援続けたいと思います。

ではでは…これから病棟の応援(オムツ交換など)に行ってきます (第3陣支援団:比嘉佳寿)

第4陣支援団5人が出発!

4月1日までの1週間の日程で第4陣支援団の次の5人(敬称略)が3月26(土)午後出発しました。激励をお願いします。

- ① 沖協 : 比嘉千明(医師)
- ② 沖協 : 玉城和美(看護師)
- ③ 沖協 : 平良顕治(事務)
- ④ 協同にじくり: 室岡美和子(看護師)
- ⑤ とよみ生協 : 行徳拓馬(OT)

「第5陣」以降の 日程について

25日付「ニュース」(第8号)でお伝えしているように、4月からは地協ごとの支援体制に入ります。

4月の九沖地協は、坂総合病院へ、4/11(月)~4/20(水)の期間(地協内でさらに人数と期間を割り振りして担当する)となります。